

# 惑星電磁圏・大気圏研究会

日時：2005年3月3日10時15分～3月4日16時50分

場所：東北大学大学院理学研究科理学総合棟

## 3月3日

10:15	10:20	世話人挨拶	
10:20	10:40	野田寛大	月からの低周波電波観測
10:40	10:50	三澤浩昭	月からの低周波電波観測-初期受信システムの検討-(仮題)
10:50	11:05	梅川慎吾	月ナトリウム希薄大気の成因に関する考察
11:05	11:25	野澤宏大	BepiColombo/MMO 搭載用大気カメラ(MSASI)の開発
11:25	11:45	寺田直樹	Exoionosphere を含めた水星グローバル MHD シミュレーション
<b>11:45</b>	<b>13:00</b>	<b>昼食</b>	
13:00	13:20	鈴木 睦	大気化学・雷観測のための静止小型衛星用観測センサの検討状況
13:20	13:40	佐藤光輝	EUSO ミッション:ISSからの超高層雷放電観測計画
13:40	13:55	村地哲徳	極域電離圏酸素イオン撮像用の多層膜ミラーの開発
13:55	14:15	田口 真	惑星リモートセンシング用気球搭載望遠鏡の開発(2)
14:15	14:35	渡部潤一	石垣島天文台の進捗状況
<b>14:35</b>	<b>14:55</b>	<b>休憩</b>	
14:55	15:15	小林直樹	木星内部構造と木星震動
15:15	15:35	浅田 正	木星大赤斑の振動運動の再検出とSSTB-Oval
15:35	15:55	中島健介	木星大気ダイナミックスの現状と課題
15:55	16:10	埜 千尋	木星熱圏・電離圏モデルによる木星磁気圏-電離圏-熱圏結合の研究
<b>16:10</b>	<b>16:30</b>	<b>休憩</b>	
16:30	16:50	中村正人	JAXA長期ビジョンの現状と20年後までの「惑星圏探査計画」 (水星探査:依頼中)
16:50	17:10		
17:10	17:30	今村 剛	地球型惑星大気探査の展望
17:30	17:50	吉川一朗	Phobos soil ミッションの現状と科学目標
17:50	18:10	笠羽康正	木星探査:ソーラーセイル計画と「大探査」
18:10	18:30	討論	
<b>18:45</b>		<b>懇親会</b>	

## 3月4日

9:00	9:15	大月祥子	地上観測データからの金星大気水蒸気定量
9:15	9:35	岩上直幹	火星大気化学の謎(レビュー)
9:35	9:55	阿部琢美	周回衛星による金星火星大気/プラズマ観測の必要性について
9:55	10:10	金尾美穂	火星の電離圏境界の構造について
10:10	10:30	上野宗孝	MTO/MIC-II による火星大気モニター観測計画
<b>10:30</b>	<b>10:50</b>	<b>休憩</b>	
10:50	11:10	今井一雅	解け始めた木星電波の謎-木星電波発見50周年を迎えて-
11:10	11:25	越田友則	木星電波探査用超軽量デジタル受信機の基礎研究
11:25	11:45	三好由純	木星放射線帯

11:45	12:05	土屋・野村	木星シンクロtron電波を用いた木星放射線帯変動の観測
12:05	12:20	西村幸敏	地磁気擾乱時における地球放射線帯電子のピッチ角分布の変動
<b>12:20</b>	<b>13:20</b>	<b>昼食</b>	
13:20	14:05	大家寛	特別講演:木星研究ー来し方・行く先
14:05	14:20	青井一紘	木星衛星イオ起源ナトリウム原子の高分散分光観測
14:20	14:35	鍵谷将人	イオプラズマトールスでのマスローディングの変動
14:35	14:55	野澤宏大	木星磁気圏プラズマの変動現象
<b>14:55</b>	<b>15:15</b>	<b>休憩</b>	
15:15	15:35	関華奈子	木星 in-situ プラズマ観測の研究の現状と課題(仮題)
15:35	15:50	山崎 敦	木星オーロラ ～小オービターでの観測に向けて～
15:50	16:10	深沢圭一郎	木星オーロラの朝夕非対称性とグローバル MHD シミュレーション
16:10	16:25	尾木俊一	土星のオーロラと IMF の南北成分に対する土星磁気圏の構造
16:25	16:40	飛山泰亮	アイランド・飯館惑星電波観測網を用いた、月による太陽電波反射波観測
16:40		<b>世話人挨拶</b>	